

特別展

クジラの村

—山から海へ出た男たち—



捕鯨船団母船模型



令和3年7月17日(土)~10月17日(日)

前期:令和3年7月17日(土)~8月29日(日)/後期:令和3年9月4日(土)~10月17日(日)
※8月31日(火)~9月3日(金)展示入れ替えのため臨時休館となります。

【主催】 八戸市南郷歴史民俗資料館

【特別協力】 船の科学館「海の学び ミュージアムサポート」

【協力】 公益社団法人 日本水産資源保護協会 / 一般財団法人 日本鯨類研究所
一般社団法人 大日本水産会 / 山田町立鯨と海の科学館
おしかホエールランド / 外房捕鯨株式会社

八戸市南郷歴史民俗資料館

青森県八戸市南郷大字島守字小山田7-1 TEL/FAX:0178(83)2443

【開館時間】 午前9時~午後5時(入館は4時30分まで)

【休館日】 月曜日(第一・祝日を除く)、祝日の翌日、8月31日(火)~9月3日(金)展示入れ替えのため

【入館料】 一般200円(150円)、高校・大学生100円(50円)、小・中学生50円(30円)

※()内は20人以上の団体料金 ※市内の小・中学生は無料 ※高齢者(市内在住65歳以上)の方は半額 ※障がい者手帳をお持ちの方と付き添いの方1名は半額



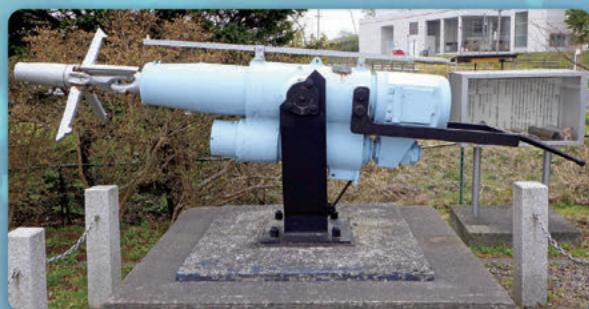
昭和10年代に始まる旧・中沢村（後・南郷村、現・八戸市南郷）の出稼ぎ捕鯨は、戦後徐々に従事者が増加し、最盛期を迎えた昭和30年代当時の南郷村は、山の中にありながら「クジラの村」と呼ばれました。

こうしたことから、南郷地域には捕鯨会社の名前が付けられた公園や、実際に使われた捕鯨砲及び記念碑があるほか、捕鯨従事者の資料も多く残されており、出稼ぎ捕鯨の歴史を今に伝えています。

本展では、捕鯨関係資料や従事者の体験談、八戸と鯨にまつわる資料などを紹介し、クジラという海の資源と我々の暮らしとの結びつきを振り返りながら、「クジラ」と「人間」の関係について身近な視点から考えます。



ミンククジラの頭骨



捕鯨砲（道の駅なんごう駐車場脇）

特別展示資料



【前期展示】

八戸南部家旧蔵【本草資料】
「人魚牙（鯨類の歯）」
八戸市博物館蔵

【後期展示】

重要有形民俗文化財
「八戸及び周辺地域の漁撈用具と浜小屋」
「アバリ（鯨骨製）」八戸市蔵

併催行事（要予約）

●講演会 会場：島守市民サービスセンター
14：00～15：30

①7月22日（木・祝）定員：20名
「クジラについて学ぼう！クジラ博士の出張授業」
講師：一般財団法人 日本鯨類研究所
研究員 後藤睦夫氏

②8月28日（土）定員：20名
「南郷の出稼ぎ捕鯨」
講師：元捕鯨従事者 村上石蔵氏

●体験学習会 会場：島守市民サービスセンター

①7月25日（日）14：00～ 定員：20名
「すごいぞ！クジラの骨」
講師：八戸市教育委員会社会教育課 主幹 杉山陽亮

②9月19日（日）11：00～ 定員：10名
「うまいぞ！クジラの肉」
八戸の郷土料理「クジラ汁」を作ってみましょう
講師：ふるさとルネッサンス 食文化を守り伝える会

●ギャラリートーク 会場：八戸市南郷歴史民俗資料館
14：00～ 定員：各回5名

① 7月31日（土） ② 8月29日（日）
③ 9月25日（土） ④ 10月16日（土）

八戸市南郷歴史民俗資料館

〒031-0202 青森県八戸市南郷大字島守字小山田7-1
TEL/FAX:0178(83)2443

アクセス：八戸自動車道南郷ICから車で約10分/八戸市中心街から車で約30分

